

国立大学法人兵庫教育大学

学 報



第261号

平成16年 4月

題字 中渕正堯学長



学校教育学部平成15年度卒業式（関連記事 7ページ掲載）

目 次

法人の初年度	2	・平成16年度兵庫教育大学大学院学校教育研究科(修士課程)第2次入学者選抜状況	
大学院連合学校教育学研究科平成15年度学位記授与式式辞	4	・奨学寄附金	
大学院学校教育研究科平成15年度学位記授与式式辞		人事	12
大学院学校教育研究科(夜間クラス)平成15年度学位記授与式式辞	5	・人事異動	
学校教育学部平成15年度卒業式式辞	7	・役職者等	
平成15年度大学院連合学校教育学研究科学位記授与者	9	諸報	18
学事	10	・運営評議会・教授会・学校教育研究科委員会	
・平成15年度大学院学校教育研究科学位記授与者数等		・学校教育研究センタープロジェクト研究発表会, 講演会及びラウンドテーブルの開催	
・平成15年度学校教育学部卒業証書・学位記授与者数等		・教員研修留学生の研究発表会の開催	
・平成15年度附属学校(園)の卒業(修了)者数等		・兵庫教育大学永年勤続者表彰及び文部科学省永年勤続者表彰	
・平成16年度学校教育学部入学者選抜試験等		・平成15年度谷口賞及び学生表彰の授与	
		・平成16年度公開講座の案内	
		・訂正	
		学内委員会等委員	23
		主要日誌	30

・ ・ ・ 法 ・ 人 ・ の ・ 初 ・ 年 ・ 度 ・ ・ ・ ・

学 長 中 冽 正 堯

初年度の仕事

4月1日に、第1回の役員会、教育研究評議会、4月7日に、第1回の経営協議会を行い、法人法に基づく必要な諸手続きを経て、国立大学法人兵庫教育大学として出発いたしました。

ここまでの形を整えるために、それ相当の労力と時間と経費を要したことを歴史的証言として銘記し、準備委員会を中心に直接の業務に携わった教職員の労に感謝したいと思います。

その労に報いるのは、整えられた形に構成員の手によって個々の運用の内実をもたらしていくことです。新たな規程・規則、新たな組織等、その適切、有効な運用を自ら決定しつつ、初年度の実績を作っていくこととなります。

運営上の目標と初年度計画

「年頭の辞」にも記しましたが、運営上の目標を端的に、次のように集約しています。

- 1 研究（教育実践学）の成果をいっそう着実にあげること
- 2 特色のある教育内容をもつ教育課程、専攻コースへとたえず更新すること
- 3 学生に実践的な指導能力、研究能力をつけること
- 4 教育実践ネットワーク（内外）によって実践研究成果の交流をはかること
- 5 競争的資金、外部資金等の積極的な導入をはかること

加えて、法人としての出発にあたり、

- 6 職務全般にわたり真の効率化をはかることを置きたいと思います。

これらを具現化していくために、平成16年度、大学院においては、

- ・ 「学校心理コース」の新設
- ・ 新制度（長期履修学生制度／小学校教員養成プログラム）の導入
- ・ 神戸サテライトの「昼夜開講制コース」の拡充
- ・ 教育内容（生活・健康系コース）の改善

がスタートいたしました。

全学的には、「兵庫教育大学教育実践ネットワー

ク（Hyokyo-net）」の本格運用の開始です。

言うまでもなく、法人前からの各講座、各センター等が積み上げてきた研究・教育の実績（遺産）のさらなる充実をめざすとともに、

- ア 地域貢献特別事業の実施
- イ eラーニングの積極的な活用
- ウ 各講座、学内各センター及び附属学校園等の連携による実践研究の推進
- エ 学外各機関（他大学を含む）との教育実践に係わる共同研究の推進
- オ 研究拠点形成のためのプロジェクト研究の推進を引き継いでいきます。

中期目標・中期計画の確認

上記の運営上の目標及び初年度計画は、すべて本学の中期目標・中期計画に盛り込まれています。

この中期目標・中期計画の実践主体は、大学の構成員であり、システムとしての各種委員会であります。

先に、「新たな規程・規則、新たな組織等、その適切、有効な運用を自ら決定しつつ、初年度の実績を作っていくことになる」と述べました。

各種委員会は、会議に先立って、自らの委員会が中期目標・中期計画のどの事項にかかわるものであるか、隣接の委員会とどのように提携していくものであるか、確認や見通しの作業をしていただきたいと思ひます。

その確認の中には、上記のこの新年度から動き始めているものの他に、法人化前からの継続課題等を含めていく必要があります。

平成17年度以降で、すでに決定しているものは、平成16年度のものの継続・発展と、

学校教育専攻（4コース）の改革
障害児教育専攻の改革

です。継続課題となっているのは、

「発達支援」をキーコンセプトとする全学的な取り組み
専門職大学院の立ち上げ
教科・領域教育専攻の改革

などです。

これら、運営上の目標の2にあげた「特色のある

教育内容をもつ教育課程，専攻コースへとたえず更新すること」について検討する際に，留意したいことが三つあります。

一つは，時間的なことで，たとえば，検討を平成16年度に終えることができても，実施は平成18年度になるということです。

二つは，組織的なことで，社会的なニーズに応える新しいコースを設置するためには，研究組織と教育組織を別仕立てにする発想も要するという事です。

三つは，ニーズの捉え方で，時代社会の趨勢の中で生成されるニーズには，自ずから成るものとしかけによって生じるものがあるということです。わが国の教育の行末を洞察し，大学からはたらきかけ，説得力をもってニーズを形成することも考えます。そのニーズの客観的な把握のためにも，「Hyokyo-net」の有効活用がますます期待されます。

経費・予算面のことと真の効率化と

運営上の目標の5にあげた「競争的資金，外部資金等の積極的な導入をはかること」について，当面の課題の主なものが三つあります。

一つは，運営費交付金の増額システムとされる「特別教育研究経費」の獲得です。

二つは，政策的補助金とされる「C・O・E」「特色ある大学教育支援プログラム」の獲得です。

三つは，競争的資金とされる「科学研究費」の獲得です。

一，二については，プランを公募し，ヒヤリングを行い，プロジェクトを立ち上げて，進めていきます。二については，「C・O・E」が連合大学院の研究を中心に，「特色ある大学教育支援プログラム」が学部の教育を中心に進めており，どちらもすでに成案を得ております。

三については，教員一人ひとりの課題であり，この件数の増加と研究スケールの拡大は，教員個人のみならず大学全体に裨益する点で大きいものがあります。

これら資金の獲得とは別の方向から経費・予算面へ直接，間接に寄与するものとして，運営上の目標に6として追加した「職務全般にわたり真の効率化をはかること」があります。

「真の効率化」と言いましたのは，効率化の名のもとに，手抜き，省略，劣化（質の低下）はあってはならないことの自戒をこめてのことです。

効率化は，教学や事務的な領域でのペーパーレス化をはじめ，諸会議の運用，研究・教育の内実に及びます。

新年度から，大学院生M1はかつてない330人という人数を抱えます。研究・教育のさまざまな局面において，まずは，教員のFDの真価が問われます。と同時に，これもFDの一環ではありますが，受講生たちの意欲をかきたて，真の効率化を促進しなくてはなりません。

以上のことをこなしていくとき，本学は，あらゆる評価を自信をもって受けることができます。

Eメール:office-president@office.hyogo-u.ac.jp

大学院連合学校教育学研究科平成15年度学位記授与式式辞

学長 中 冽 正 堯

三月や水を分けゆく風の筋（久保田万太郎）

このような情景に出会う春になりました。今日の佳き日に、兵庫教育大学名誉教授のご臨席と、上越教育大学長、岡山大学副学長、鳴門教育大学長、連合学校教育学研究科長をはじめとする関係教職員各位のご列席のもとに、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科平成十五年度学位記授与式を挙げることは、修了生及び学位取得者のみなさんにとっては言うまでもなく、本研究科にとっても最高の慶びとするものであります。

今年度、博士の学位を取得されたのは、課程博士10人、論文博士5人であり、第一期生から含めると、97人（74人+23人）になります。

連合学校教育学研究科の構成大学を代表して、改めて、みなさんのご研鑽に敬意を表しますとともに、所期の目的を達成されたことに対して、心からお慶び申し上げます。また、この間のみなさんの教育研究を支えてこられたご家族の方々をはじめ、関係者のみなさまに改めてお礼申し上げます。

さて、学位を取得された今、次への出発のために、自身の研究を振り返ってみることも大切かと思えます。

すなわち、自身の研究の領域・分野は、それぞれの専攻や連合講座の中の一分野を深く究めていく類のものであったか、講座を越え、専攻にまたがる類のものであったか、あるいは、新たな体系を創るようなものであったか、と振り返ります。また、研究の体制としては、理念的、哲学的、原理的、本質的な追究であったか、現実的、具体的、方法的、実践的な追究であったか、あるいは、その融合であったか、などと振り返ります。

深化と拡充という言葉があります。どのような研究であれ、深化は必要条件です。そして、本研究科の標榜する学校教育学、教育実践学にあつては、拡充が十分条件であると思えます。その拡充のためには、自身の研究が扱った領域・分野の外を覗き、自身のものとのつながりを考えてみることです。

本日は、学位取得の記念の一つ、そのレッスン用に、式辞の冒頭にあげました俳句「三月や水を分けゆく風の筋」にあった「風」の話をしてみます。

「だれが風を見たでしょう あなたも ぼくも見やしない」というのは、クリスティーナ・ロッセッティの詩の文言です。俳句「三月や水を分けゆく風の筋」は、きっちり風を見えています。

ところが、風は必ずしもこんな筋のいいものばかりではありません。気象の専門家である倉嶋厚は、「ちょうど春一番の吹く頃、その悪天に旅程を狂わされながら沖永良部島を訪れたことがある。そこで『二月風車』という言葉を知った。旧暦二月は今の三～四月にあたるが、その頃吹く風は強く、方向が定まらないという意味だ。」と述べています。春は、冬の北西季節風と夏の南東季節風が日本の上空で激しく争い、方向の定まらない強風が吹くというわけです。

井伏鱒二の有名な漢詩の翻訳に、「コノサカヅキヲ受ケテクレノドウゾナミナミツガシテオクレノハナニアラシノタトヘモアルゾノ『サヨナラ』ダケガ人生ダ」というのがあります。（「勸酒」于武陵）

桜の季節を過ぎると、やがて梅雨時を迎えますが、先の倉嶋厚は、「風の色」と題する随想で、南風（はえ）を取り上げ、「黒い南風は、梅雨どきの低い雨雲の下を吹き抜ける湿った南風のことです。一方、白い南風は、梅雨明け後の亜熱帯の青空の下を吹く明るい南風を指しています。そして、梅雨末期の集中豪雨が大あばれするころに吹く南風が荒南風です。」と述べています。奄美の元ちとせの「ハイヌミカゼ」は、白南風を歌ったものでしょうか。

夏から秋へ、その変わり目を捉えた歌が、古今和歌集にあります。まず、巻三の夏歌の最後、「六月（みなつき）のつごもりの日よめる みつねノ夏と秋とゆきかふ空のかよひ路はかたへ涼しき風や吹くらむ」。

次に、巻四の秋歌上の最初、「秋立つ日よめる 藤原敏行朝臣ノ秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬる」。

この二つの歌について、群馬大学の国文学の元教授であった高橋和夫氏が、氏は気象学を勉強して文学に現れた気象現象を解釈するという学際的研究をしていますが、その高橋氏が、こう言っています。立秋頃になると、偏西風のジェット気流によって絹雲や絹積雲などが棚引き、北西から南東に流れてゆく、これが「か

よひ路」であり、みつねは、それを捉えているのであり、また、敏行は、季節風の交替を知ったのである、ということです。みつねも敏行も、なかなかの自然科学者であり、気象学者であると賛辞を送っていきます。

ふたたび、倉嶋厚の文章にかえりますが、「人は昔から、風の来し方、行く末を思ってきた。どこから来て、どこへ行くのだろうか、と。／海に出て木枯帰るところなし／昭和十九年、山口誓子がよんだ句だ。／しかし、風はめぐっている。熱源と冷源の間に起こる対流は、大気の大循環となって、地球上をめぐっている。」としています。

シベリアから吹き出した「木枯らし」は、さまざまに姿を変え、今度は熱帯から、南風となって、低気圧に吹き込み、その北上とともに北極圏へと帰っていく。めぐる風の旅には終わりが無い、ということです。「誓子が見つめた『木枯らし』も北へ帰った。帰らなかったのは、昭和十九年、私と同年だった特攻隊員たちだ。」と結んでいます。

風の季節を通してみました。他にも、風と音楽、風と絵画なども興味深い話題を提供してくれます。驚いたことに、風による偏形樹を、古典絵画の中に探る研究もあるのです。歴史的、地理的に風のエネルギーを捉えようとするものでしょう。風車の研究へとつながっていきます。以上で、「風」の話による拡充のレッスンは終わりです。

博士という学位を取得するために、みなさんがこの年月に傾注された努力は並大抵のものではありませんでした。その結果としての学位取得について、心からおめでとくと申し上げますとともに、これを新たな出発点として、博士の「博」のもつ学問の関連の意義を体得していかれることを念じてやみません。

今後、すぐれた研究者、指導者として、あるいは最高度の専門職業人として、ますます発展していかれますよう、みなさんの前途のご多幸を祈って式辞といたします。

平成16年 3月26日



大学院学校教育研究科平成15年度学位記授与式式辞 大学院学校教育研究科（夜間クラス）平成15年度学位記授与式式辞

学長 中 洌 正 堯

バスを待ち大路の春をうたがはず（石田波郷）
そんな時節の今日この佳き日に、本学名誉教授、社町助役をはじめとするご来賓各位、本学役職員をはじめとする教職員各位、そして、ご家族のみなさまのご臨席のもとに、兵庫教育大学大学院学校教育研究科平成15年度学位記授与式を挙げていきますことは、修了生のみなさんにとっては言うまでもなく、本学にとっても最大の喜びとするところであります。

新しく修士の学位を取得されたのは244人です。この中には、神戸サテライトでの修了生19人を含ん

でいます。昭和56年度の修了生から数えますと、本学は5,610人の修士のみなさんを世に送り出したこととなります。

なお、本日をもって、4人の教員研修留学生在が研修を了られます。こちらのほうは、本年度で73人の方が、母国に帰って活躍されることとなります。

大学を代表して、改めてみなさんに心からお慶び申し上げますとともに、所定の年月にわたるみなさんの教育研究を支えて来られたご家族の方々をはじめ、各教育委員会、所属長、在籍校のみなさまに、

心よりお礼申し上げます。

さて、みなさんは、本学に在学した年月の間に、それぞれの専門分野において、教育実践・研究を進め、自己研鑽に努めてまいりました。そこで、私は、国語科の立場から、この機会に確かめてみたいことがあります。みなさんを試すようなことになるかもしれませんが、今から、古典の「竹取物語」の冒頭部分を読みます。ここには、国語の専門分野外の人々が大部分だと思えますが、修士課程を了えてみて、専門外の、しかも昔の物語のようなものを聴く耳、聴く心に変化が生じているかどうかを確かめてほしいのです。変化があれば良いとか悪いとかいうつもりはありませんが、かつてより抵抗なく聴けるゆとりというか、心のしなやかさというか、そうあってほしいと思います。

読みます。「今は昔、竹取の翁といふ者ありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使いけり。名をば、さぬきの造となむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてあたり。」
どうですか。別段、抵抗なく聴けましたか。

専門分野のことを深めていくと同時に、専門分野外のことを受け入れるしなやかさをだいじにしてほしいと思います。ついでに、もう少し、国語科的な話をします。今の「竹取物語」の文章の最後に、「いとうつくしうてあたり」とありました。これは、「たいそうかわいらしい様子で座っている」ということです。「あたり」の「あ」は座っていることです。

立ったり座ったりする動作を「立居振舞」といいますが、その「居」と同じです。「立待月」「居待月」もこの伝です。「居合」というのも、座っていてすばやく刀を抜き、ひと打ちで敵を斬り、すぐに刀をさやに戻す剣術の一法ということになります。「居酒屋」の「居」も、もともと酒屋で立ち呑みだったことに対応しているのでしょう。

最近、子どもの居場所づくりとか、居場所の発見ということが実践的な話題になっています。これは、「居る」意味のほうに重点が移っていますが、「居心地」(いごち)が座ってみた時の感じだから、その関係では、心を落ち着けて座ることのできる場所ということになります。実際的な居場所の問題でもありまじょうが、根本は、心の居場所です。

それにしても、「居座る」という言葉は、いかに

も強調していて、近頃のジベタリアンと称せられる若者の実態にぴったりと当てはまります。彼らもまた、自分たちにふさわしい居場所が他にはないことを主張しているのでしょうか。「立ちすくむ」に対する「居すくまる」という状態もありますが……。

「円居」(まどい)という言葉があります。家族など親しい者が集まって楽しく過ごすこと、「一家団欒」という言葉と同じ意味です。昨今の社会的な状況を見ますと、この「円居」を取り戻すために、家庭と学校と社会の心ある者たちが、全力をあげて取り組まなくてはならない時に来ています。しかも、これから長い時間を要する仕事です。

ここで、来年度から本格的な取り組みを開始する「兵庫教育大学教育実践ネットワーク(Hyokyo-net)」のことを取り上げ、お願いもしておきたいと思えます。

今も提起したような教育実践上の問題も含めて、各専門分野に関する研究・教育は、これからも継続されます。大学院を修了したみなさんが職場から通信していただき、大学をあげて問題解決に向かうように、Hyokyo-netの準備を進めております。

通信の中には、問題ばかりではなく、職場での児童・生徒の生き生きした活動ぶりや、学習指導の成果も寄せていただければ、それをネットに乗せて、共有財産とすることができます。もちろん、情報上の著作権は尊重してのことです。

私は、現在でも修了生のみなさんと例会システムのサークルをもち、教育実践に関する研究・教育活動を行っています。昨年は、一つのサークルから、『表現する高校生-対話をめざす教室から-』(三省堂、2003)という本を出版いたしました。修了生を中心に50人近くの会員で、執筆者は17人でした。

その挨拶状には、「修了生・卒業生と大学が、実践活動や研究活動の成果、諸課題などに関する情報を相互に発信、共有し、それらを有効に活用していくということは、本学の創設以来、各領域、各分野において地道に進められてきたところとすべ、平成16年4月からは、ネットワークを立ち上げるけれども、その「有力な結節点となるのは、やはり本書に見られるような研究会活動だと考えます。」と述べています。

ネットワークとの結びつきは、いろいろな単位が考えられます。個人もあります。組織・集団では、所属した専攻・コースがあり、同じ学年であった院

生協や寮生活の単位があります。修了後に結成された研究・教育のサークルがあり、県単位の同窓会があります。いずれにしても、かりに個人からであっても、ネットワークが機能すれば、事は自ずから広がり、結びつきます。

以上、前段には、専門分野外のことを受け入れ、考えを広げていくしなやかさの確かめを述べ、後段には、ネットワークによる教育・研究の協同作業の願いを述べました。どうぞお元気で活躍ください。これをもって式辞といたします。

平成16年 3月23日



学校教育学部平成15年度卒業式式辞

学長 中 洌 正 堯

春の雲人に行方を聴くごとし（飯田龍太）-そんな様子のこの佳き日に、本学名誉教授、社町助役、後援会会長をはじめとするご来賓各位、本学役職員をはじめとする教職員各位、そして、ご家族の皆様のご臨席のもとに、兵庫教育大学学校教育学部平成15年度卒業式を挙行できますことは、卒業生のみなさんにとっては言うまでもなく、本学にとっても大いに慶びとするところであります。

新しく学士号を取得されたのは、160人であり、昭和60年度からの卒業生を入れると、本学は3,770人の学生のみなさんを世に送り出したこととなります。

大学を代表して、みなさんに改めてお慶び申し上げますとともに、みなさんの4年間にわたる勉学を支えてこられたご家族の方々に心から感謝申し上げます。

卒業は、一つの区切りであります。学びの世界をどう捉えるかにもよりますが、生涯学習の考え方をとりますと、大学卒業も人生の一つの通過点であり、多くの人はこれからがいよいよ現場と直結する、新たな学びの出発点になります。そうしたみなさんの門出に向けて、私の大学卒業時の体験談の一つをおきたいと思えます。

私は、大学を卒業すると、すぐに広島市内の中学校に就職しました。教育委員会で辞令をもらうと、その日のうちに、同僚になる数学教師と一緒にその中学校に訪ねていきました。今から考えると、それなりに問題を抱えた学校だったのですが、独身の若い教師が多く、まだ学校に教師が寝泊まりする宿直制度のある時代でしたから、あっと言う間に仲間引き込まれました。こちらも飛び込んだ気がします。

その学校では、1学年8クラスありましたが、文化祭には、各学年で一本の演劇を上演することになっていました。放課後、生徒たちの指導をしているうちに、いつしか、職員劇も一本やろうではないかということになりました。おまえは国語だから、何か脚本を見つけてこい、なければ作れということになって、あの孫悟空の出でくる「西遊記」を脚色することになったのです。

幸いなことに役者はそろっています。三蔵法師は何先生、孫悟空は誰、猪八戒は誰、沙悟浄は何先生と、おもしろいように決まります。後の登場人物は、金角大王、銀角大王、桂馬にひょこ（歩）、それに馬役二人です。話の筋はたいしたことではなく、セ

リフと演技で笑わせていく体のものだったのですが、全校の中学生にバカ受けしました。学校から帰って、保護者にも伝えたらしくて、校長のもとへPTAから要請があり、PTAの総会でも再演することになりました。

体育館の真ん中に花道を作って、そこを三蔵法師の乗った馬を通したり、馬役の一人が馬のお腹のほうでいなないてみたり、大変な盛り上がりでした。

このことは、生徒や保護者との一体感、教師集団としてのまとまりにも、大いに効果を発揮することになりました。この呼吸の中に、学校教育上の重要なことがいくつも含まれていると思いますが、教師の側からすれば、参加する心、好き嫌いを超えて一歩前へ踏み出す心の大切さではないかと思います。

そのときの教師集団の中で、有志の人たちは、その後いろいろ転勤があったにもかかわらず、今でも「仲博会」と称して、交流を続けています。

こういうことは、さまざまな偶然が重なって成立したと言えましょう。ただ、今も申しましたように、参加する心、好き嫌いを超えて一歩前へ踏み出す心が集まれば、いつでもどこでも、何事においても、同じようなことは実現すると信じています。

組織・集団の中で、参加する心、好き嫌いを超えて一歩前へ踏み出す心というのは、お互いに支え合う心でもあります。

「支える」とことと遠目には同じように見える「よりかかる」「もたれかかる」というのがあります。「もたれかかる」生き方は、その人の生きること、生活の心棒が通っていないし、自立してもいないのが現状です。大学卒業は、自分の中から「もたれかかる」生き方を払拭し、「支える」生き方へ意志的な転換をはかることであります。

私たちは、うかうかと、支える一方、もたれかかる一方の状態を作りがちです。「わたしだけが、なんでこんなに犠牲にならなきゃならないのか」という言葉は、支える一方に陥っていると感じている人の愚痴です。「そんなことくらい自分でやんなさいよ」という言葉は、もたれかかる一方だと思われる人への非難の言葉です。その種の言葉は、誤解もふくめて、要するに支え合うことができていないことへの警鐘です。火元の状況を確認する必要があります。

「ねえ、今日の会合、何時からだっけ?」「この書類どう書けばいいの?」「この間の講義ノート見せてくれない?!」-そういうことを言い続ける人が

います。そういう自分を自覚している人もいれば、まったく無自覚な人もいますが、それでも、回りの人から愛されているというか、重宝がられている場合があります。学園祭や卒業発表会などの人物紹介(プロフィール)で、その様子を窺うことができます。人徳でしょうね。その人が、別の面で人徳に当たるような「よさ」でもって、他の人を支えているからではないでしょうか。

「支える」生き方も一通りではありません。ある人は心で支え、ある人は力で支えるでしょう。また、ある人は技術で支え、ある人は知恵で支えるでしょう。自分は何によって支え、相手はどのような形で支えているか、それをきちんと看取る必要があります。看取った上で、「支え合う」ことの出来不出来を評価しなくてはなりません。

先に紹介した体験話の教師集団は、この「支え合う」ことがよく出来ていた仲間だったと言うことができます。みなさんは、これからの新しい職場、新しい組織・集団の中で、「支え合う」ことのできる一員になっていただきたいと思います。

本日は、この後、谷口賞などの学生表彰の授賞式をこの場で行います。これは、本学の学園生活の中で、みなさんが勉学や部活動等で支え合って成果を挙げたことの証として、代表者の人に受け取ってもらうものです。このような表彰ができること、それは即ち、みなさんの力です。ご卒業、おめでとう。

平成16年 3月23日



平成15年度大学院連合学校教育学研究科学学位記授与

3月26日(金)午前11時30分から本学講堂において、大学院連合学校教育学研究科学学位記授与式を挙し、15人に学位を授与した。

なお、博士の学位が授与された者の氏名、学位論文名等は次のとおりである。

〔課程博士〕

氏名	学位の種類	授与年月日	論文題目
佐々木 恵	博士(学校教育学)	H16.3.26	大学生におけるストレス・コーピングと精神健康の因果関係に関する実証的研究
佐藤 和順	"	"	幼稚園生活におけるジェンダー形成の多重構造に関する研究 - ジェンダー・バイアス・フェードアウト 保育の構築 -
手島由紀子	"	"	知的障害者の自己決定に必要な学習と支援に関する研究
諏訪田文男	博士(学術)	"	A study of generalized metric properties (一般距離空間の属性の研究)
加藤 晴子	博士(学校教育学)	"	「こもりうた」にみる音楽教育的機能 - 音楽感覚の形成を視点とした教育実践への提案 -
高橋 順子	"	"	日本における軍楽の受容とその作品にみる日本の特徴に関する研究
加納 暁子	"	"	演奏表現を中心とした音楽の指導内容とその学習に関する教育実践学的研究
胡 習之	博士(学術)	"	水中収束衝撃波の塑性加工への応用
伊藤 大輔	博士(学校教育学)	"	北アイルランドと日本の技術科カリキュラムのデザインに関する研究
岡崎 愉加	"	"	思春期の食生活が性成熟に与える影響

〔論文博士〕

氏名	学位の種類	授与年月日	論文題目
吉利 宗久	博士(学校教育学)	H16.3.11	アメリカ特殊教育におけるインクルージョンの法制と実践に関する研究
中込 雄治	"	"	多様な考え方を引き出す数学教材の開発に関する研究
三崎 隆	"	"	認知型を主とする観察の構造とそれを支える理科教育の実践的研究 - 地層観察事例を中心として -
小池 守	"	"	直接体験を取り入れた化学領域における実験教材の開発と教育実践に関する研究
桐山 信一	"	"	物理における環境教育を視野に入れた教材化に関する実践的研究

- 学 事 -

平成15年度大学院学校教育研究科学位記授与者数等

・学位記授与者の専攻・コース別内訳（平成16年3月23日）

専攻・コース	入学定員 人	学位記授与者数 人
学校教育専攻	105	9
教育基礎コース		11
教育経営コース		13
教育方法コース		9
生徒指導コース		9
幼年教育コース		43
教育臨床コース		28
昼間クラス		15
夜間クラス		94
小計		105
障害児教育専攻	25	20
教科・領域教育専攻	170	22
言語系コース		25
社会系コース		19
自然系コース		20
芸術系コース		16
生活・健康系コース		28
総合学習系コース		24
昼間クラス		4
夜間クラス		130
小計		170
合計	300	244

・学位記授与者の都道府県別内訳（本籍地別）

都道府県	学位記授与者数 人	都道府県	学位記授与者数 人
北海道	1	京都	9
青森	1	大阪	22
岩手		兵庫	89
宮城	2	奈良	2
秋田		和歌山	4
山形		鳥取	4
福島		島根	5
茨城	1	岡山	5
栃木	1	広島	5
群馬		山口	7
埼玉	5	徳島	3
千葉	2	香川	3
東京	2	愛媛	4
神奈川	1	高知	2
新潟		福岡	9
富山		佐賀	2
石川	2	長崎	3
福井	3	熊本	2
山梨	1	大分	1
長野	3	宮崎	5
岐阜	3	鹿児島	6
静岡	7	沖縄	1
愛知	8	外国	2
三重	1		
滋賀	5	合計	244

平成15年度学校教育学部卒業証書・学位記授与者数等

・学位記授与者の専攻・コース別内訳（平成16年3月23日）

専修・専修コース		卒業生数 人
学校教育専修	学校教育系コース	23
	幼年教育系コース	20
	教育臨床系コース	22
	小計	65
幼児教育専修		1
教科・領域教育専修	言語系コース	20
	社会系コース	15
	社会系専修コース	1
	自然系コース	9
	自然系専修コース	2
	芸術系コース	16
	生活・健康系コース	22
	生活・健康系専修コース	2
	総合学習系コース	7
	小計	94
合計		160

・学位記授与者の都道府県別内訳（本籍地別）

都道府県	学位記授与者数 人	都道府県	学位記授与者数 人
北海道	1	京都	3
青森		大阪	4
岩手	1	兵庫	68
宮城		奈良	1
秋田		和歌山	1
山形		鳥取	4
福島		島根	8
茨城		岡山	11
栃木		広島	5
群馬		山口	3
埼玉		徳島	1
千葉		香川	2
東京	1	愛媛	4
神奈川	2	高知	
新潟		福岡	2
富山		佐賀	1
石川	5	長崎	4
福井	3	熊本	2
山梨		大分	2
長野	1	宮崎	6
岐阜	1	鹿児島	6
静岡	3	沖縄	
愛知	2	外国	1
三重	1		
滋賀		合計	160

平成15年度附属学校(園)の卒業(修了)者数等

区 分	附 属 小 学 校		附 属 中 学 校		附 属 幼 稚 園	
卒業(修了)者数	男子 55人	98人	男子 58人	102人	男子 25人	62人
	女子 43人		女子 44人		女子 37人	

平成16年度学校教育学部入学者選抜試験等

平成16年度学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験<前期課程>を2月25日(水)・26日(木)に、私費外国人留学生特別選抜試験を2月27日(金)にそれぞれ実施し、3月6日(土)に合格者の発表を行った。

また、同<後期日程>を3月12日(金)に実施し、3月20日(土)に合格者を発表した。

合格者数等の概要は、次のとおりである。

区 分	志願者数	受験者数	合格者数
個別学力検査等入学者選抜試験 <前期日程>	261人	231人	93人
個別学力検査等入学者選抜試験 <後期日程>	185	89	28
私費外国人留学生特別選抜試験	7	5	3

平成16年度兵庫教育大学大学院学校教育研究科(修士課程)第2次入学者選抜状況

平成16年度大学院第2次募集入学者選抜試験を平成16年3月13日(土)に実施し、3月20日(土)に合格者を発表した。合格者数等は次のとおりである。

1 専攻・コース別合格者数等

専 攻 ・ コ ー ス		募集人員	応募者数	受験者数	合格者数
学校教育専攻	教育方法コース	10人程度			
	教育経営コース	若干人	3(2)	2(2)	1(1)
	教育方法コース	5人程度	1	1	1
教科・領域教育専攻	言語系コース(昼間コース)	若干人	2	2	1
	言語系コース(夜間コース)	若干人	2(2)	2(2)	2(2)
	社会系コース(昼間コース)	5人程度	2	1	1
	社会系コース(夜間コース)	若干人	2	1	1
	自然系コース(昼間コース)	10人程度	1	1	1
	自然系コース(夜間コース)	若干人			
	芸術系コース	5人程度	4(1)	3(1)	3(1)
	生活・健康系コース(昼間コース)	5人程度	1	1	1
	生活・健康系コース(夜間コース)	若干人	1	1	1
	総合学習系コース(昼間コース)	5人程度	1	1	1
	総合学習系コース(夜間コース)	10人程度	5(3)	5(3)	5(3)
合 計			25(8)	21(8)	19(7)

(注) 1. 応募者数は、第1志望のみ

2.()内の数は、3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む。)を内数で示す。

2 3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む。)の合格者の所属学校種別内訳

計	内 訳					
	小学校	中学校	高等学校	特殊教育諸学校	幼稚園	他
7	2	3	2			

3 3年以上の教職経験を有する現職教員(同意書なしを含む。)の合格者の教職経験年数別内訳

計	内 訳		
	3年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上
7	1	1	5

奨学寄附金

寄附申込者	研究担当者	寄附の目的	金額(円)
オムロン株式会社エンジニアリングセンター長 笹岡俊雄	生活・健康系教育講座教授 玉井輝雄	玉井輝雄教授の「表面電子物性に関する研究」への助成	900,000

- 人 事 -

人事異動
(学部等)

年月日	発令事項	新 職 名 等	氏 名	旧 職 名 等
16. 3. 31	定年退職		山下 伸 典	学校教育学部教授 (自然系教育講座)
"	"		二 谷 廣 二	学校教育学部教授 (附属実技教育研究指導センター)
"	"		吉 田 興 宣	学校教育学部助教授 (社会系教育講座)
"	辞職	神戸親和女子大学 文学部教授	荒 木 紀 幸	学校教育学部教授 (教育方法講座)
"	"	九州保健福祉大学 社会福祉学部教授	山 口 洋 史	学校教育学部教授 (障害児教育講座)
"	"	兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科教授	西 村 治 彦	学校教育学部教授 (総合学習系教育講座)
16. 4. 1	辞職	東京外国語大学 外国語学部教授	高 島 英 幸	学校教育学部教授 (総合学習系教育講座)
"	"	神戸大学大学院 経済学研究科助教授	藤 岡 秀 英	学校教育学部助教授 (生活・健康系教育講座)
"	"	福井大学 教育地域科学部助教授	橋 本 康 弘	学校教育学部助手 (社会系教育講座)
"	"	長崎大学教育学部講師	小 島 道 生	学校教育学部助手 (障害児教育講座)

(学部等)

年月日	発令事項	新 職 名 等	氏 名	旧 職 名 等
16. 4. 1	配置換	学校教育学部教授 (教育臨床講座)	塩見 邦雄	連合学校教育学研究科教授
"	"	連合学校教育学研究科教授	勝野 眞吾	学校教育学部教授 (生活・健康系教育講座)
"	昇任	学校教育学部教授 (自然系教育講座)	吉岡 秀文	学校教育学部助教授 (自然系教育講座)
"	"	学校教育学部教授 (生活・健康系教育講座)	西岡 伸紀	学校教育学部助教授 (生活・健康系教育講座)
"	"	附属実技教育研究指導センター 教授	小竹 光夫	附属実技教育研究指導センター 助教授
"	"	学校教育学部助教授 (言語系教育講座)	谷 明信	学校教育学部講師 (言語系教育講座)
"	"	学校教育学部助教授 (言語系教育講座)	河野 智文	学校教育学部講師 (言語系教育講座)
"	"	学校教育学部助教授 (社会系教育講座)	首藤 明和	学校教育学部講師 (社会系教育講座)
"	"	学校教育学部助教授 (芸術系教育講座)	野本 立人	学校教育学部講師 (芸術系教育講座)
"	"	学校教育学部助教授 (生活・健康系教育講座)	高田 俊也	学校教育学部助手 (生活・健康系教育講座)
"	"	学校教育学部助教授 (総合学習系教育講座)	森廣 浩一郎	学校教育学部講師 (総合学習系教育講座)
"	"	学校教育学部講師 (教育方法講座)	伊藤 博之	学校教育学部助手 (教育方法講座)
"	"	学校教育学部講師 (社会系教育講座)	桑山 由文	学校教育学部助手 (社会系教育講座)
"	採用	学校教育学部講師 (教育臨床講座)	細澤 仁	神戸大学大学院医学系研究科 助手
"	"	学校教育学部講師 (総合学習系教育講座)	千田 誠二	
"	"	学校教育学部助手 (生徒指導講座)	隈元 みちる	
"	"	学校教育学部助手 (教育臨床講座)	安立 奈歩	

(附属学校)

年月日	発令事項	新 職 名 等	氏 名	旧 職 名 等
16. 3. 31	辞職	兵庫県立教育研修所指導主事	渡 信雄	附属小学校教諭
"	"	愛媛県今治市立国分小学校教諭	門田 モトミ	附属小学校教諭
"	"	兵庫県小野市立大部小学校教諭	田中 康善	附属小学校教諭
"	"	兵庫県三木市立三樹小学校教諭	吉岡 順子	附属小学校教諭
"	"	兵庫県加古川市立氷丘小学校 教諭	渡邊 裕子	附属小学校教諭

(附属学校)

年月日	発令事項	新 職 名 等	氏 名	旧 職 名 等
16. 3.31	辞職	兵庫県高砂市立曾根小学校教諭	梶川 修二	附属小学校教諭
"	"	鹿児島県南種子町立島間小学校教頭	牧野田 弘一	附属小学校教諭
"	"	兵庫県明石市立貴崎小学校校長	小林 多津子	附属中学校教頭
"	"	兵庫県加西市立加西養護学校教諭	藤原 俊幸	附属中学校教諭
"	"	鹿児島県東町立鷹巣中学校教諭	寺田 敦	附属中学校教諭
"	"	兵庫県立氷上西高等学校教諭	足立 幸謙	附属中学校教諭
"	"	兵庫県立明石城西高等学校養護教諭	栗山 尚子	附属中学校養護教諭
"	"	姫路市立城陽幼稚園長	寺澤 幸子	附属幼稚園教頭
"	"	保城第一保育園副園長	林 久子	附属幼稚園教諭
"	"	聖和大学教育学部専任教員	上 中 修	附属幼稚園教諭
"	"		井平 基子	附属幼稚園教諭
"	"	兵庫県福崎町立八千種小学校養護教諭	石原 知恵	附属幼稚園養護教諭
"	"	滋賀大学教育学部講師	辻 延浩	附属小学校教諭
16. 4. 1	採用	附属小学校教諭	今井 優子	愛媛県今治市立立花中学校教諭
"	"	附属小学校教諭	新名主 洋一	鹿児島県川内市立可愛小学校教諭
"	"	附属小学校教諭	蓬萊 友栄	
"	"	附属小学校教諭	安田 明代	
"	"	附属小学校教諭	大谷 伸也	
"	"	附属中学校教頭(副校長)	森本 眞一	兵庫県明石市立花園小学校教頭
"	"	附属中学校教諭	中村 武志	兵庫県小野市立小野南中学校教諭
"	"	附属中学校教諭	野口 豪	鹿児島県始良郡加治木町立加治木中学校教諭
"	"	附属中学校教諭	中村 次郎	兵庫県加西市立北条中学校教諭
"	"	附属中学校養護教諭	河島 由美子	
"	"	附属幼稚園教頭(副園長)	高橋 一枝	姫路市立御国野幼稚園長
"	"	附属幼稚園教諭	谷石 宏子	神戸市立からと幼稚園教諭
"	"	附属幼稚園教諭	小尾 麻希子	明石市立林幼稚園教諭
"	"	附属幼稚園教諭	前田 真由美	
"	"	附属幼稚園養護教諭	柳瀬 朋子	

(事務局)

年月日	発令事項	新 職 名 等	氏 名	旧 職 名 等
16. 3.31	定年退職		荒川 忠雄	教務部長
"	"		永井 昭	教務部教務課附属学校係作業員
"	辞職		内橋 孝夫	総務部庶務課専門職員
"	16.3.30 限り任期満了退職		遠藤 稚	総務部庶務課企画法規係事務補佐員

(事務局)

年月日	発令事項	新 職 名 等	氏 名	旧 職 名 等
16. 3. 31	16.3.30 限 以 任期滿了退職		遠 藤 奈 奈	総務部庶務課研究協力係 事務補佐員(自然,生活・健康棟)
"	辞職	東京医科歯科大学事務局長	川 本 幸 彦	事務局長
16. 4. 1	"	岡山大学施設部施設整備課長	山 田 富 男	総務部施設課長
"	"	長岡技術科学大学教務部 留学生課長	古 杉 俊 輔	教務部学生課長
"	転出	(独)国立女性教育会館情報 課長	藏野 由美子	教務部図書課長
"	辞職	神戸大学学務部学生生活課 就職支援室長	佐古田 義隆	総務部庶務課課長補佐
"	"	大阪大学経理部情報処理課專 門員	藤 井 博	教務部学生課課長補佐
"	"	神戸大学総務部秘書課 監査室財務監査係長	高 松 肇	総務部会計課専門職員 (監査担当)
"	"	神戸大学学務部学務課 課外教育指導係長	柏 木 秀 之	教務部教務課専門職員 (連合大学院教務担当)
"	"	神戸大学医学部経営管理課 契約第三係主任	寺 川 則 彦	総務部会計課用度係主任
"	"	神戸大学施設部設備課 電気第二係長	岡 本 繁 美	総務部施設課設備係主任
"	"	神戸大学医学部学務課保健 学科教務学生係主任	宮 下 圭 一	教務部入学主幹付入学試験係 主任
"	"	大阪大学総務部人事課 総務掛主任	前 田 学	総務部庶務課人事係員
"	採用	教務部長	本 田 守	九州大学学務部学生生活課長
"	"	総務部施設課長	岩 瀬 生 男	島根大学施設課課長補佐
"	"	教務部学生課長	湯 浅 賢 一	高松工業高等専門学校学生課長
"	"	教務部図書課長	中 筋 健 児	浜松医科大学総務部会計課長
"	"	教務部学生課課長補佐	高須賀 清	大阪大学医学部附属病院 管理課課長補佐
"	"	総務部施設課設備係主任	国 見 新 吾	明石工業高等専門学校 会計課施設係施設主任
"	"	総務部会計課用度係員	井 神 朋 宏	大阪大学サイバーメディアセンター 会計掛員
"	"	教務部教務課ワライ事務係 事務補佐員	渡 邊 啓 介	
"	在籍 出向 職員受入れ	総務部庶務課課長補佐 (命)学術研究推進室長 (命)監査室兼務	荻 阪 政 雄	神戸大学社会科学系学部等 総務課総務掛長
"	"	総務部会計課専門職員(監査担 当) (命)監査室兼務	田 村 優	神戸大学総務部人事課 給与掛主任
"	"	教務部教務課専門職員 (連合大学院教務担当)	松 本 亘	神戸大学社会科学系学部等 学務課経営学部・経営学研究科 教務掛主任

(事務局)

年月日	発令事項	新職名等	氏名	旧職名等
16. 4. 1	在籍出向 職員受入れ	総務部庶務課企画法規係 主任(広報・連携関係担当)	板垣季昭	神戸大学医学部総務課 庶務第二掛主任
"	"	教務部入学主幹付 入学試験係主任	中宏樹	神戸大学企画部情報企画課 センターシステム掛員
"	配置換	総務部庶務課人事係主任	白川勝也	総務部庶務課庶務係主任
"	昇任	総務部庶務課庶務係主任	高橋寿明	総務部庶務課企画法規係員 (広報・連携関係担当)
"	命	監査室兼務	土井隆	
"	"	監査室兼務	松本隆明	

役職者等

【役員等】

役職名	氏名	任期	備考
学長	中 洌 正 堯	H16. 4. 1~H16.11.30	
理事(副学長)	濱 名 外喜男	H16. 4. 1~H16.11.30	
副学長	佐 藤 光	H16. 4. 1~H16.11.30	
理事(事務局長)	三 浦 永 司	H16. 4. 1~H16.11.30	
理事(非常勤)	宮 崎 秀 紀	H16. 4. 1~H16.11.30	
監事	高 倉 翔	H16. 4. 1~H18. 3.31	学内業務監査担当
監事	宮 地 主	H16. 4. 1~H18. 3.31	会計監査担当

【教員役職者】

役職名	氏名	任期	備考
附属図書館長	千 駄 忠 至	H16. 4. 1~H18. 3.31	経営協議会委員, 教育研究評議会評議員
連合学校教育学研究科長	岩 田 一 彦	H16. 4. 1~H18. 3.31	経営協議会委員, 教育研究評議会評議員
学校教育研究センター長	渡 邊 満	H16. 4. 1~H18. 3.31	教育研究評議会評議員
学部主事(第1部)	安 部 崇 慶	H16. 4. 1~H18. 3.31	教育研究評議会評議員
学部主事(第2部)	山 岡 俊比古	H16. 4. 1~H18. 3.31	教育研究評議会評議員
学部主事(第3部)	崎 谷 眞 也	H16. 4. 1~H18. 3.31	教育研究評議会評議員
学部主事(第4部)	森 岡 茂 勝	H16. 4. 1~H18. 3.31	教育研究評議会評議員
学部主事(第5部)	荒 木 勉	H16. 4. 1~H18. 3.31	教育研究評議会評議員
学部副主事(第1部)	名須川 知子	H16. 4. 1~H18. 3.31	教育研究評議会評議員
学部副主事(第2部)	河 村 昭 一	H16. 4. 1~H18. 3.31	教育研究評議会評議員
学部副主事(第3部)	渥 美 茂 明	H16. 4. 1~H18. 3.31	教育研究評議会評議員
学部副主事(第4部)	藤 井 一 男	H16. 4. 1~H18. 3.31	教育研究評議会評議員
学部副主事(第5部)	増 澤 康 男	H16. 4. 1~H18. 3.31	教育研究評議会評議員
附属小学校長	田 中 亨 胤	H16. 4. 1~H17. 3.31	
附属中学校長	松 浦 正 史	H15. 4. 1~H18. 3.31	教育研究評議会評議員

【教員役職者】

役 職 名	氏 名	任 期	備 考
附属幼稚園長	岡 秀 郎	H16. 4. 1~H17. 3.31	
附属実技教育研究指導センター長	松 下 健 二	H16. 4. 1~H18. 3.31	
附属発達心理臨床研究センター長	富 永 良 喜	H15. 4. 1~H17. 3.31	
保健管理センター所長	平 田 早 苗	H15. 4. 1~H17. 3.31	
情報処理センター長	正 司 和 彦	H16. 4. 1~H18. 3.31	
地域交流推進センター長	河 村 昭 一	H16. 4. 1~H18. 3.31	
(講座主任)			
教育基礎講座	杉 尾 宏	H14. 4. 1~	
教育経営講座	吉 田 寿 夫	H13. 4. 1~	
教育方法講座	正 司 和 彦	H11. 4. 1~	
生徒指導講座	渡 邊 満	H15. 4. 1~	
幼年教育講座	横 川 和 章	H16. 4. 1~	
教育臨床講座	富 永 良 喜	H16. 4. 1~	
障害児教育講座	鳥 越 隆 士	H16. 2. 1~	
言語系教育講座	山 岡 俊 比 古	H12. 4. 1~	
社会系教育講座	河 村 昭 一	H14. 4. 1~	
自然系教育講座	崎 谷 真 也	H16. 4. 1~	
芸術系教育講座	森 岡 茂 勝	H16. 4. 1~	
生活・健康系教育講座	福 田 光 完	H16. 4. 1~	
総合学習系教育講座	小 川 武 範	H16. 4. 1~	
(学校教育研究センター部門主任)			
学校問題解決研究部門	古 川 雅 文	H14. 4. 1~	
情報メディア教育研究部門	成 田 滋	H14. 4. 1~	
実地教育支援研究部門	長 澤 憲 保	H15. 4. 1~	
附属小学校教頭(副校長)	古 田 猛 志	H15. 4. 1~	
附属中学校教頭(副校長)	森 本 眞 一	H16. 4. 1~	
附属幼稚園教頭(副園長)	高 橋 一 枝	H16. 4. 1~	

- 諸 報 -

運営評議会

第15回 平成16年 3月10日（水）

（議題）

- 1 法人化後の学内諸規則について
- 2 生活・健康系コース（家庭分野）の改組について
- 3 国立大学法人化に伴う連合学校教育学研究科に係る構成国立大学法人間協定書・覚書等の締結等について
- 4 保留定員の取扱いについて
- 5 教員の選考開始等について
- 6 平成17年度概算要求の取り扱いについて
- 7 奨学寄附金の受入れについて

第16回 平成16年 3月22日（月）

（議題）

- 1 中期目標及び中期計画並びに年度計画の提出について
- 2 国立大学法人化に伴う学内諸規則の制定等について
- 3 生活・健康系コース（家庭分野）の改組について

教授会

第11回 平成16年 3月 5日（金）

（議題）

- 1 平成16年度学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験《前期日程》の合否判定について
- 2 平成16年度学校教育学部私費外国人留学生特別選抜試験の合否判定について
- 3 教員の選考について
- 4 教員選考委員会の設置等について

第12回 平成16年 3月10日（水）

（議題）

- 1 教員の選考について
- 2 教員選考委員会の設置等について
- 3 平成15年度学校教育学部卒業の認定について
- 4 平成16年度学校教育学部授業科目担当教官の変更等について
- 5 学部学生の学籍異動について

6 特別聴講学生の入学について

7 学校教育学部科目等履修生の入学について

第13回 平成16年 3月19日（金）

（議題）

- 1 平成16年度学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験《後期日程》の合否判定について
- 2 平成16年度追加合格者の決定方法について
- 3 教員の選考について
- 4 2年次進級時における学生の専修等の所属変更の取扱いについて
- 5 学部学生の学籍異動について
- 6 特別聴講学生の聴講期間の変更について

学校教育研究科委員会

第12回 平成16年 3月10日（水）

（議題）

- 1 平成15年度大学院学校教育研究科修了の認定について
- 2 兵庫教育大学大学院学校教育研究科履修規程の一部改正について
- 3 大学院学校教育研究科担当の認定について
- 4 平成16年度大学院学校教育研究科授業科目担当教官の変更等について
- 5 大学院学生の転クラスについて
- 6 大学院学生の学籍異動について
- 7 大学院学校教育研究科科目等履修生の入学について
- 8 研究生の入学について
- 9 研究生の研究期間延長について
- 10 平成16年度既修得単位認定に係る日程について

第13回 平成16年 3月19日（金）

（議題）

- 1 平成16年度大学院学校教育研究科入学者選抜試験〔第2次募集〕の合否判定及び長期履修学生（夜間クラス）の許可について
- 2 大学院学生の学籍異動について
- 3 研究生の入学について

連合学校教育学研究科委員会

第5回 平成16年3月11日(木)

- 1 課程修了による博士の学位授与の可否及び修了の認定について
- 2 論文提出による博士の学位授与の可否について
- 3 国立大学法人化に伴う連合研究科関係規則等の制定改廃について
- 4 論文提出による博士の学位申請資格審査について
- 5 研究科学生の指導教員及び研究題目の変更について
- 6 主指導教員、副指導教員の変更について
- 7 博士候補認定試験の実施について
- 8 研究科学生の学籍異動について
- 9 研究科研究生の退学について
- 10 研究科研究生の研究期間延長について
- 11 平成16年度授業科目担当教員の変更について
- 12 研究科研究生の入学について

兵庫教育大学永年勤続者表彰及び文部科学省永年勤続者表彰

国立大学法人成立時に役員に就任する中渕正堯学長及び濱名外喜男副学長と、平成16年3月31日付け退職の荒木紀幸教授及び吉田興宣助教授に対し、退職時における兵庫教育大学永年勤続者表彰を行うことが決定され、3月18日(木)、学長から表彰状の授与及び記念品の贈呈が行われた。

また、文部科学省から永年勤続者表彰を行うことが決定された荒川忠雄教務部長に対し表彰状の伝達及び記念品の贈呈が行われた。



学校教育研究センタープロジェクト研究発表会、講演会及びラウンドテーブルの開催

3月20日(土)、学校教育研究センターにおいて、当センターのプロジェクト研究発表会、講演会及びラウンドテーブルが開催された。

まず最初に、プロジェクト研究発表会が行われ、学校問題解決研究部門の古川部門主任から「学校における児童生徒の学習効果を上げるための総合的研究」、情報メディア教育研究部門の成田部門主任から「問題解決に要求される『確かな学力』を育成するための情報通信技術の応用と教師の情報活用の力量形成に関する研究」、実地教育支援研究部門の長澤部門主任から「子どもの自然体験活動の指導に求められる学校教員の資質能力形成に関する研究」について、それぞれ発表が行われた。

引き続き、ハワイ大学講師のJohn H Southworth氏による「インターネットで科学を楽しく学ぶハワイの生徒」と題した講演では、ハワイ大学附属実験校とビデオ会議で結び、先進的な科学教育のカリキュラムとその実践が紹介された。

さらに、ラウンドテーブルでは「IT活用による教育実践改善と教師の力量形成のあり方」をテーマに、それに関わる優れた教育実践研究に取り組んでおられる県内公立小学校の4人の先生方から実践事例等の紹介をしていただき、県立教育研修所情報教育研修課長 常陰則之氏、本学伊藤博之助手(教育方法講座)をコメンテーターとして迎えて、教育実践研究の成果をふまえた意見交換が活発に行われ、テーマに迫る充実した研究協議会となった。



教員研修留学生の研究発表会の開催

本年3月をもって一年間の教員研修プログラムを修了する教員研修留学生の研究発表会が、3月3日（水）に本学附属図書館ライブラリーホールで開催され、留学生指導教官，チューター，学生及び在学する留学生等約20人の出席者があった。

濱名副学長が開会の挨拶で、教員研修留学生に対してねぎらいと激励の言葉を述べられた後、4人の教員研修留学生が、日本の学校教育でも注目されている情報教育や環境教育などのテーマで一年間の研究した成果を発表した。

教員研修留学生の発表と質疑応答は日本語で行われ、日本語研修期間を含め、約一年半の日本における生活上で上達した日本語を披露し、充実した発表内容に会場の出席者からは大きな拍手が送られた。



平成15年度谷口賞及び学生表彰受賞者

平成15年度谷口賞及び学生表彰受賞者が決定され、3月23日（火）の学部卒業式終了後、引き続き講堂において授与式が行われた。

・谷口賞

本学初代学長の谷口澄夫氏から寄贈された教育研究奨励金により、本学の教育研究を推進することを目的とし、昭和62年度から設けられた。毎年度、学部卒業者の中から、教職を志す人物・学業ともに優れた学生に対して贈られているもので、受賞者は次のとおりである。

学校教育系コース	鈴木かおり
幼年教育系コース	奥野雅子
教育臨床系コース	石坂真理子
言語系コース	末吉裕美

社会系コース	池田起子
自然系コース	中村友香
芸術系コース	角 木綿子
生活・健康系コース	富高 蘭
総合学習系コース	山口智史

・学生表彰

兵庫教育大学学生表彰規程に基づき、学生の様々な優れた活動を表彰し、学生の意欲を高め、自主的活動の活性化を図るため、今年度から新たに3つの賞が創設され、受賞者（団体）は次のとおりである。

スポーツ奨励賞（団体）	軟式野球部
文化芸術奨励賞（個人）	奥本裕子
〃（団体）	よさこい部
ベストリーダー賞（個人）	津村恒平



平成16年度公開講座の案内

本学の教育・研究活動の成果を公開し、社会人の教養を高めることを目的として、今年度は次のとおり17講座を開講します。

<p>現職教員の実技指導能力を向上させるための講座 - る・ぶ・げる (陸上運動・陸上競技) 指導の“こつ” - (募集人数 : 10人)</p> <p>*開設期間 : 5月6・13・20・27日, 6月3・10・17・24日 18:30~20:30 (木曜, 2H, 8回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学陸上競技場</p> <p>*受講対象者: 現職教員等</p> <p>*受講料 : 8,200円 (傷害保険料別途要)</p>	<p>パソコンによるポスターデザイン入門 (募集人数 : 15人)</p> <p>*開設期間 : 6月5・12・19・26日 10:00~16:00 (土曜, 5H, 4回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学芸術棟デザイン実習室他</p> <p>*受講対象者: 市民一般</p> <p>*受講料 : 8,200円</p>
<p>和文化体験講座 - 居合道の理念と技法 - (募集人数 : 10人)</p> <p>*開設期間 : 5月12・19・26日, 6月9・16・23・30日 19:00~20:30 (水曜, 1.5H, 8回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学武道場</p> <p>*受講対象者: 市民一般 (中学生以上)</p> <p>*受講料 : 7,200円 (傷害保険料別途要)</p>	<p>簡単ロボット製作で学ぶコンピュータの仕組みと制御 [ひょうご講座 (学内科目) として開講] (募集人数 : 10人)</p> <p>*開設期間 : 6月5・12・19・26日, 7月3・10・17日 13:30~16:30 (土曜, 2.5H, 8回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学大学院神戸サテライト</p> <p>*受講対象者: 市民一般 (Windowsの経験のある中学3年生以上)</p> <p>*受講料 : 8,200円</p>
<p>こころの絆を育てる - 人間関係とコミュニケーション - [ひょうご講座 (学外科目) として開講] (募集人数 : 40人)</p> <p>*開設期間 : 5月15・22・29日, 6月5・12・19・26日, 7月3日 13:30~15:00 (土曜, 1.5H, 8回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫県立神戸学習プラザ</p> <p>*受講対象者: 市民一般</p> <p>*受講料 : 10,000円</p>	<p>楽しくてうまくなるテニス教室 (募集人数 : 20人)</p> <p>*開設期間 : 7月3・10・17・24・31日, 8月14・21・28日 9:30~12:00 (土曜, 2.5H, 8回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学硬式テニスコート</p> <p>*受講対象者: 市民一般</p> <p>*受講料 : 8,200円 (傷害保険料別途要)</p>
<p>芸術鑑賞と表現のかかわり [ひょうご講座 (学外科目) として開講] (募集人数 : 40人)</p> <p>*開設期間 : 5月19・26日, 6月2・9・16・23・30日, 7月7・14・21・28日, 8月4日 18:30~20:00 (水曜, 1.5H, 12回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫県立神戸学習プラザ</p> <p>*受講対象者: 市民一般</p> <p>*受講料 : 15,000円</p>	<p>スポーツが好きになる親子教室 (募集人数 : 20人)</p> <p>*開設期間 : 7月17・18・24・25日, 8月29日 9月11・18日, 10月2・9日 13:30~15:30 (指定の土曜, 日曜, 2H, 8回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学プール・体育館他</p> <p>*受講対象者: 小学生低学年児童をもつ保護者</p> <p>*受講料 : 8,200円 (傷害保険料別途要)</p>
<p>楽しく踊ろうジャズダンス [ひょうご講座 (学内科目) として開講] (募集人数 : 40人)</p> <p>*開設期間 : 5月20・27日, 6月3・10・17・24日 18:10~19:40 (木曜, 1.5H, 6回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学体育棟ダンスレッスン室</p> <p>*受講対象者: 市民一般 (中学生以上, 現職教員含む)</p> <p>*受講料 : 6,200円 (傷害保険料別途要)</p>	<p>理科実験・観察のカンドコロ [ひょうご講座 (学内科目) として開講] (募集人数 : 12人)</p> <p>*開設期間 : 7月30日, 8月6・20・27日 13:30~17:00 (金曜, 3.5H, 4回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学地学実験室他</p> <p>*受講対象者: 小中高校教員及び市民一般</p> <p>*受講料 : 7,200円</p>

<p>発達が気になる子どもの家庭療育の方法 (募集人数 : 25人)</p> <p>*開設期間 : 9月4・18日, 10月2・9・16日, 11月6・20・27日, 12月4・18日 14:00~16:00(指定の土曜, 2H, 10回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学大学院神戸サテライト</p> <p>*受講対象者 : 発達が気になる子どもの保護者</p> <p>*受講料 : 8,200円</p>	<p>楽しく踊ろうジャズダンス (募集人数 : 15人)</p> <p>*開設期間 : 10月19・26日, 11月2・9・16・30日 18:10~19:40(火曜, 1.5H, 6回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学体育棟ダンスレッスン室</p> <p>*受講対象者 : 市民一般(中学生以上, 現職教員含む)</p> <p>*受講料 : 6,200円(傷害保険料別途要)</p>
<p>生涯を通して楽しむ英語と英米文化 [ひょうご講座(学内科目)として開講](募集人数 : 20人)</p> <p>*開設期間 : 9月11・18・25日, 10月2・9・16・23・30日, 11月6日 13:30~15:00(土曜, 1.5H, 9日間)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学大学院神戸サテライト</p> <p>*受講対象者 : 小学校低学年児童をもつ保護者</p> <p>*受講料 : 8,200円(傷害保険料別途要)</p>	<p>現職教員等を対象とした毛筆書道講座 - 苦手から得意への道1・2・3 -(募集人数 : 10人)</p> <p>*開設期間 : 10月23日 13:00~16:00 10月24日 10:00~16:00</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学言語棟書道演習室</p> <p>*受講対象者 : 市民一般(中学生以上, 現職教員含む)</p> <p>*受講料 : 6,200円</p>
<p>伝説と史実と (募集人数 : 30人)</p> <p>*開設期間 : 9月18・25日, 10月2・9・16・23・30日, 11月6日 13:30~15:00(土曜, 1.5H, 8日間)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学附属図書館ライブラリーホール</p> <p>*受講対象者 : 市民一般(中学生以上)</p> <p>*受講料 : 7,200円</p>	<p>絵画制作 (募集人数 : 20人)</p> <p>*開設期間 : 11月2・3・4・5日 13:00~18:00(5H, 集中4回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学芸術棟絵画実習室(2)</p> <p>*受講対象者 : 市民一般</p> <p>*受講料 : 8,200円</p>
<p>ピアノを弾こう! (募集人数 : 10人)</p> <p>*開設期間 : 10月9・23日, 11月6・20・27日 13:00~16:00(指定の土曜, 3H, 5回)</p> <p>*開設場所 : 兵庫教育大学芸術棟100号室他</p> <p>*受講対象者 : 市民一般(音楽大学出身者を除く)</p> <p>*受講料 : 7,200円</p>	

- 学 内 委 員 会 等 委 員 -

は委員長又は議長を， は副委員長又は副議長を示す。表示のない委員会は未定。〔 〕は担当課を示す。

経営協議会

委員氏名	職 名(所 属)	任 期
中 洌 正 堯	学長	
濱 名 外喜男	理事	
佐 藤 光	副学長	
三 浦 永 司	理事	
宮 崎 秀 紀	理事	
岩 田 一 彦	教 授 (社会系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
千 駄 忠 至	教 授 (生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
石 山 靖 男	学外者	16. 4. 1~ 18. 3.31
今 田 寛	学外者	16. 4. 1~ 18. 3.31
梶 田 叡 一	学外者	16. 4. 1~ 18. 3.31
小 西 龍 作	学外者	16. 4. 1~ 18. 3.31
佐々木 正 峰	学外者	16. 4. 1~ 18. 3.31
武 田 政 義	学外者	16. 4. 1~ 18. 3.31
俵 正 市	学外者	16. 4. 1~ 18. 3.31
山 本 溥	学外者	16. 4. 1~ 18. 3.31

〔庶務課〕

教育研究評議会

委員氏名	職 名(所 属)	任 期
中 洌 正 堯	学長	
濱 名 外喜男	理事	
佐 藤 光	副学長	
三 浦 永 司	理事	
宮 崎 秀 紀	理事	
千 駄 忠 至	附属図書館長	
岩 田 一 彦	連合学校教育学研究所長	
渡 邊 満	学校教育研究センター長	
安 部 崇 慶	第1部主事	
山 岡 俊比古	第2部主事	
崎 谷 眞 也	第3部主事	
森 岡 茂 勝	第4部主事	
荒 木 勉	第5部主事	
名須川 知 子	第1部副主事	16. 4. 1~ 18. 3.31
河 村 昭 一	第2部副主事	16. 4. 1~ 18. 3.31
渥 美 茂 明	第3部副主事	16. 4. 1~ 18. 3.31
藤 井 一 男	第4部副主事	16. 4. 1~ 18. 3.31
増 澤 康 男	第5部副主事	16. 4. 1~ 18. 3.31
松 浦 正 史	附属中学校長	16. 4. 1~ 18. 3.31

〔庶務課〕

基本戦略委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
中 洌 正 堯	学長	
濱 名 外喜男	理事	
佐 藤 光	副学長	
三 浦 永 司	理事	
宮 崎 秀 紀	理事	
加治佐 哲 也	教授(教育経営講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
佐 藤 哲 也	助教授(幼年教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
難 波 安 彦	教授(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
濱 中 裕 明	助教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
勝 野 眞 吾	教授(連合学校教育学研究科)	16. 4. 1~ 18. 3.31

〔庶務課〕

人事委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱 名 外喜男	理事	
佐 藤 光	副学長	
三 浦 永 司	理事	
宮 崎 秀 紀	理事	
安 部 崇 慶	教授(教育基礎講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
前 田 貞 昭	教授(言語系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
西 村 年 晴	教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
森 岡 茂 勝	教授(芸術系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
荒 木 勉	教授(生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31

〔庶務課〕

評価委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱 名 外喜男	理事	
佐 藤 光	副学長	
三 浦 永 司	理事	
宮 崎 秀 紀	理事	
今 田 寛	経営協議会委員 学外者	16. 4. 1~ 18. 3.31
岩 田 一 彦	経営協議会委員 教授(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
竺 沙 知 章	助教授(教育経営講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
岩 井 圭 司	教授(教育臨床講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
田 中 雅 和	教授(言語系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
西 村 年 晴	教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
成 瀬 敏 郎	教授(総合学習系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31

〔庶務課〕

経営企画委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱 名 外喜男	理事	
佐 藤 光	副学長	
三 浦 永 司	理事	
宮 崎 秀 紀	理事	
岩 田 一 彦	経営協議会委員 教授(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
千 駄 忠 至	経営協議会委員 教授(生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
今 塩 屋 隼 男	教授(障害児教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
杉 山 直 樹	教授(芸術系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31

〔庶務課〕

労務委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
三浦永司	理事	
杉山直樹	経営企画委員会委員 教授(芸術系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
岩井圭司	教授(教育臨床講座)	16.4.1~ 18.3.31
佐々木正道	教授(社会系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
渡辺金治	教授(自然系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
笹山幸徳	教授(芸術系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
増澤康男	教授(総合学習系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
古田猛志	附属小学校教頭(副校長)	16.4.1~ 18.3.31
山之内恵一	総務部長	

〔庶務課〕

予算・決算委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名外喜男	理事	
佐藤光	副学長	
三浦永司	理事	
宮崎秀紀	理事	
千駄忠至	附属図書館長	
岩田一彦	連合学校教育学研究所長	
石山靖男	経営協議会委員 学外者	16.4.1~ 18.3.31
小西龍作	経営協議会委員 学外者	16.4.1~ 18.3.31
安部崇慶	第1部主事	16.4.1~ 18.3.31
山岡俊比古	第2部主事	16.4.1~ 18.3.31
崎谷真也	第3部主事	16.4.1~ 18.3.31
森岡茂勝	第4部主事	16.4.1~ 18.3.31
荒木勉	第5部主事	16.4.1~ 18.3.31
渡邊満	学校教育研究センター長	16.4.1~ 18.3.31
田中亨胤	附属小学校長	16.4.1~ 18.3.31

〔会計課〕

学務・入試企画委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名外喜男	副学長	
佐藤光	副学長	
武井敦史	助教授(教育経営講座)	16.4.1~ 18.3.31
堀江祐爾	教授(言語系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
原田智仁	教授(社会系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
福本謹一	教授(芸術系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
松村京子	教授(生活・健康系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
松本伸示	教授(総合学習系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
長澤憲保	教授(学校教育研究センター)	16.4.1~ 18.3.31
本田守	教務部長	

〔教務課, 入学主幹室〕

研究推進委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名外喜男	副学長	
千駄忠至	附属図書館長	
渡邊満	学校教育研究センター長	
今塩屋隼男	教授(障害児教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
今井裕之	助教授(言語系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
竹村厚司	助教授(自然系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
杉山直樹	教授(芸術系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31
後藤幸弘	教授(生活・健康系教育講座)	16.4.1~ 18.3.31

〔庶務課〕

学生委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
井澤 信三	講師(障害児教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
桑山 由文	講師(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
松山 廣	教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
田中 由美子	助教授(芸術系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
森山 潤	助教授(生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
本田 守	教務部長	

〔学生課〕

就職委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
藤田 継道	教授(教育臨床講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
鈴木 敏雄	教授(言語系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
渡辺 金治	教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
新山 眞弓	教授(附属教育研究センター)	16. 4. 1~ 18. 3.31
山口 修	教授(総合学習系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
本田 守	教務部長	

〔学生課〕

大学情報委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
千駄 忠至	附属図書館長	
正司 和彦	情報処理センター長	
浅川 潔司	教授(教育臨床講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
中村 哲	教授(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
本間 均	教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
鈴木 寛	教授(附属教育研究センター)	16. 4. 1~ 18. 3.31
長瀬 久明	教授(学校教育研究センター)	16. 4. 1~ 18. 3.31
松浦 正史	附属中学校長	16. 4. 1~ 18. 3.31
三浦 永司	事務局長	

〔庶務課, 会計課〕

情報公開委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名 外喜男	理事	
佐藤 光	副学長	
三浦 永司	理事	
宮崎 秀紀	理事	
千駄 忠至	附属図書館長	
岩田 一彦	連合学校教育学研究所長	
渡邊 満	学校教育研究センター長	
安部 崇慶	第1部主事	
山岡 俊比古	第2部主事	
崎谷 眞也	第3部主事	
森岡 茂勝	第4部主事	
荒木 勉	第5部主事	
名須川 知子	第1部副主事	
河村 昭一	第2部副主事	
渥美 茂明	第3部副主事	
藤井 一男	第4部副主事	
増澤 康男	第5部副主事	
松浦 正史	附属中学校長	16. 4. 1~ 18. 3.31

〔庶務課〕

大学広報委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
宮崎 秀紀	理事	
田中 亨胤	教授(幼年教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
藤井 德行	教授(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
澁江 靖弘	教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
初田 隆	助教授(附属教育研究センター)	16. 4. 1~ 17. 3.31
山本 忠志	助教授(生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
山之内 恵一	総務部長	

〔庶務課〕

ファカルティ・ディベロップメント推進委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐々木 和義	教授(附属発達心理研究センター)	16. 4. 1~ 18. 3.31
谷 明 信	助教授(言語系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
尾 関 徹	講師(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
長 尾 義 人	助教授(芸術系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
玉 井 輝 雄	教授(生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
名須川 知子	教授(幼年教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
三 野 耕	教授(生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31

〔教務課〕

国際交流委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱 名 外喜男	副学長	
八 並 光 俊	助教授(生徒指導講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
吉 田 達 弘	助教授(言語系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
小 池 敏 司	助教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
山 本 政 幸	助教授(芸術系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
中 岡 義 介	教授(生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
三 浦 永 司	事務局長	
菅 原 稔	教授(言語系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
首 藤 明 和	助教授(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
寺 尾 裕 子	助教授(学校教育研究センター)	16. 4. 1~ 18. 3.31
鈴 木 正 敏	助教授(学校教育研究センター)	16. 4. 1~ 18. 3.31

〔庶務課, 学生課〕

社会連携委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
宮 崎 秀 紀	理事	
河 村 昭 一	地域交流推進センター長	
八 並 光 俊	助教授(生徒指導講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
吉 本 剛 典	助教授(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
西 村 年 晴	教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
木 下 千 代	助教授(芸術系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
増 澤 康 男	教授(総合学習系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
山之内 恵 一	総務部長	

〔庶務課〕

キャンパス環境・安全委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
三 浦 永 司	理事	
佐 藤 光	総括安全衛生管理者	
天 根 哲 治	助教授(教育方法講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
寺 尾 裕 子	助教授(学校教育研究センター)	16. 4. 1~ 18. 3.31
尾 関 徹	教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
村 上 裕 介	助教授(芸術系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
永 木 耕 介	助教授(附属教育研究センター)	16. 4. 1~ 18. 3.31
岡 秀 郎	附属幼稚園長	16. 4. 1~ 18. 3.31
山之内 恵 一	総務部長	

〔庶務課, 施設課〕

安全衛生委員会(嬉野台地区)

委員氏名	職名(所属)	任期
佐 藤 光	総括安全衛生管理者	
山 本 忠 志	衛生管理者	16. 4. 1~ 18. 3.31
大 原 美 紀 子	衛生管理者	16. 4. 1~ 18. 3.31
平 田 早 苗	産業医	16. 4. 1~ 18. 3.31

〔庶務課〕

安全衛生委員会(山国地区)

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	総括安全衛生管理者	
藤田 定彦	衛生管理者	16. 4. 1~ 18. 3.31
平田 早苗	産業医	16. 4. 1~ 18. 3.31

〔庶務課〕

遺伝子組換え生物等取扱安全委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
渥美 茂明	教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
吉岡 秀文	教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
山口 修	教授(総合学習系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
河村 昭一	教授(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
平田 早苗	保健管理センター所長	
小林 和則	庶務課長	

〔庶務課〕

同和・人権委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
黒岩 督	助教授(教育方法講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
原田 誠司	助教授(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
本間 均	教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
喜多村 明里	助教授(芸術系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
服部 範子	助教授(生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
渡邊 満	学校教育研究センター長	
森本 眞一	附属中学校教頭(副校長)	16. 4. 1~ 18. 3.31
三浦 永司	事務局長	

〔庶務課, 学生課〕

知的財産管理委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
加治佐 哲也	教授(教育経営講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
小竹 光夫	教授(附属教育研究センター)	16. 4. 1~ 18. 3.31
石原 諭	助教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
米澤 有恒	教授(芸術系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
後藤 幸弘	教授(生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
山之内 恵一	総務部長	

〔庶務課〕

附属図書館運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
千駄 忠至	附属図書館長	
竺 沙知章	助教授(教育経営講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
押久保 倫夫	助教授(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
藤原 司	助教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
野本 立人	助教授(芸術系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
森 廣浩一郎	助教授(総合学習系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
長瀬 久明	教授(学校教育研究センター)	16. 4. 1~ 18. 3.31
本田 守	教務部長	

〔図書課〕

附属センター運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名 外喜男	副学長	
安部 崇慶	第1部主事	
河村 昭一	第2部副主事	
渥美 茂明	第3部副主事	
藤井 一男	第4部副主事	
荒木 勉	第5部主事	
渡邊 満	学校教育研究センター長	
松下 健二	附属実技教育研究指導センター長	
富永 良喜	附属発達心理臨床研究センター長	
平田 早苗	保健管理センター所長	
正司 和彦	情報処理センター長	
山之内 恵一	総務部長	

〔庶務課, 教務課〕

附属学校運営委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
佐藤 光	副学長	
田中 亨胤	附属小学校長	
松浦 正史	附属中学校長	
岡 秀郎	附属幼稚園長	
古田 猛志	附属小学校教頭(副校長)	
森本 眞一	附属中学校教頭(副校長)	
高橋 一枝	附属幼稚園教頭(副園長)	
渡邊 満	学校教育研究センター長	
長澤 憲保	教授(学校教育研究センター)	16. 4. 1~ 18. 3.31
本田 守	教務部長	

〔教務課〕

教務委員会

委員氏名	職名(所属)	任期
濱名 外喜男	副学長	
佐藤 光	副学長	
島崎 保	助教授(教育基礎講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
山中 一英	講師(教育経営講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
金丸 晃二	助教授(教育方法講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
安原 一樹	助教授(生徒指導講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
佐藤 哲也	助教授(幼年教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
富永 良喜	教授(教育臨床講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
秋光 恵子	講師(教育臨床講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
鳥越 隆士	教授(障害児教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
菅井 三実	講師(言語系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
大嶋 浩	教授(言語系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
南 埜 猛	助教授(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
森 秀樹	助教授(社会系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
矢吹 治一	教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
庭瀬 敬右	助教授(自然系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
竹内 俊一	教授(芸術系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
福本 謹一	教授(芸術系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
森田 啓之	講師(生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
森山 潤	助教授(生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 18. 3.31
潮田 ひとみ	助教授(生活・健康系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
佐藤 真	助教授(総合学習系教育講座)	16. 4. 1~ 17. 3.31
長澤 憲保	教授(学校教育研究センター)	16. 4. 1~ 18. 3.31

〔教務課〕

- 主要日誌 -

月 日	事 項
3月1日(月)	国立大学法人化準備委員会「組織業務・人事制度部会」(第43回) 大学院入学試験委員会(第11回)
3月2日(火)	学生委員会(第9回) 就職セミナー(第6回)
3月3日(水)	国立大学法人化準備委員会(第22回) 学部入学試験委員会(第9回) 専門職大学院設置検討委員会(第4回) 学部科目等履修生選考委員会 教職講座 教員研修留学生研究発表会 後援会理事会
3月4日(木)	教職員特別定期健康診断
3月5日(金)	教授会(第11回) 大学院教務委員会(第12回) 学部教務委員会(第12回) eラーニングワーキング(第10回) 大学院科目等履修生選考委員会 サテライト学生への法人化説明会
3月6日(土)	学部前期日程入学者選抜試験等合格者発表
3月8日(月)	国立大学法人化準備状況に関する全学説明会 研究生選考委員会 教員等就職対策委員会
3月9日(火)	保健管理センター運営委員会(第1回) 大学推薦による国費外国人留学生(研究留学生)選考の会 附属学校運営協議会
3月10日(水)	運営評議会(第15回) 教授会(第12回) 学校教育研究科委員会(第12回) 教職講座
3月11日(木)	連合学校教育学研究科委員会(第5回) 就職セミナー(第7回)
3月12日(金)	学部後期日程入学者選抜試験 附属中学校卒業証書授与式
3月13日(土)	大学院第2次募集入学者選抜試験
3月15日(月)	国立大学法人化準備委員会「組織業務・人事制度部会」(第44回)
3月16日(火)	国立大学法人化準備委員会(第23回) 大学院入学試験委員会(第12回) 研究生選考委員会 実地教育委員会(第7回)
3月17日(水)	教職講座 厚生会理事会 体育会表彰式 附属図書館運営委員会 附属幼稚園修了証書授与式
3月18日(木)	兵庫教育大学永年勤続者表彰式・文部科学省永年勤続者表彰伝達式 国立大学法人化準備状況に関する全

	学説明会 専門職大学院設置検討委員会(第5回) 学部入学試験委員会(第10回) グループウェア「GETA」活用方法ワークショップ 教授会(第13回)
3月19日(金)	学校教育研究科委員会(第13回) 附属小学校卒業証書授与式 附属幼稚園修了式 大学院神戸サテライト授業担当講座等連絡会(第3回) 学部後期日程入学者選抜試験合格者発表
3月20日(土)	大学院第2次募集入学者選抜試験合格者発表 学校教育研究センタープロジェクト研究発表会、講演会及びラウンドテーブル 運営評議会(第16回)
3月22日(月)	大学院学校教育研究科学学位記授与式
3月23日(火)	学校教育学部卒業式 大学院学校教育研究科(夜間クラス)学位記授与式 学部教務委員会(第13回)
3月24日(水)	学校教育研究センター運営委員会(第9回) 窓口業務サービス向上のための接遇マナー講習会 附属小学校修了式 附属中学校修了式 大学院連合学校教育学研究科学学位記授与式
3月26日(金)	入学者選抜方法研究委員会(第2回)

プリントアウトの
無駄をなくそう
～印刷前にもう一度確認を～

編集発行 兵庫教育大学総務部庶務課

〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1

電話 代表(0795)44-1101